

第 223 回 渋谷区、千代田区、及び新宿区の安達建之助像

筆者：林 久治（記載：2023 年 2 月 28 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\) のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張っって人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいたので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

武漢肺炎による自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要不可欠である。今年の 7 月は、第 7 波と猛暑のため、私は銅像探索をしばらく自粛していた。しかし、大阪在住の 3 人の孫達は夏休み前に感染したが軽症であった。そこで、私は 9 月初旬に大阪に行き、近畿の銅像を探索した。東京に帰ってから、運動を兼ねて銅像探索を続けている。私の銅像探索記の全ては、[2\) のサイト/f](#) から閲覧出来ます。

2 月 18 日に、私は飛鳥山公園に行き、渋谷史料館の渋谷像を探索し、[前回の記事/f](#) にその探索記を記載した。[220 回の記事/f](#) には、お茶の水にある東京デザイナー学院の安達建之助像の探索記を書いた。本学院は東京に多数の姉妹校がある ([3\) のサイト/1](#))。その幾つかをグーグルマップで調べて見ると、添付写真に安達像が写っている事に気付いた（例えば、東京スクール・オブ・ビジネスと東京ビジュアルアーツ）。そこで、私は 2 月 24 日に在京の姉妹校を全て廻って、安達像を探索した。本稿は、その探索記で、私の意見などを **青文字** で、資料の内容などを **緑文字** で記載する。

（2）東京スクール・オブ・ビジネスの安達建之助像

私は一筆書きの順番を考えて、安達学園の姉妹校を訪問した。先ず、東京都老人パスを使って地下鉄大江戸線に乗り、代々木駅で下車した。東京スクール・オブ・ビジネス（渋谷区代々木 1-56）は地下鉄代々木駅と JR 代々木駅の間にある。その地図を、次ページの図 1 上に示す。

校舎は代々木駅前の一等地に建っている立派なビルであった。図 1 下には、本校の玄関の写真を示す。玄関に入ると広いロビーがあり、入口の直ぐ前に 1 基の胸像が設置されていた。私はロビーに居た職員の許可を得て、胸像周辺を撮影した。その写真を 3 ページの図 2 上に示す。胸像は [220 回の記事/f](#) に記載した安達像と同一であった。

（本文は、4 ページに続く。）



図1.

上：東京スクール・オブ・ビジネスの周辺地図、本図は、[1\)](#) のサイト/より借用。

下：本校の玄関。





図2.
上：本校の玄関ロビー、
下：安達建之助像。

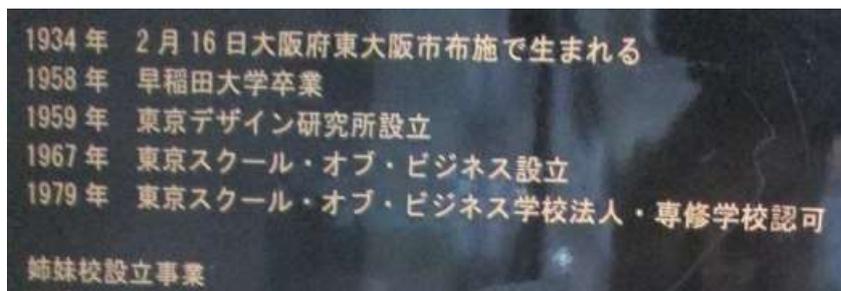


図3. 本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部

図3に、本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部を示す。姉妹校設立事業は長文であったが、[220回の記事/f](#)に記載した碑文の内容と同様であったので、今回は省略する。本校の紹介はウィキペディアに書かれている。以上の資料などにより、本校の安達像の概要は次の通りである。

安達建之助理事長胸像

設置場所：東京都渋谷区代々木 1-56 東京スクール・オブ・ビジネス玄関ロビー

制作者：東條会館、設置時期：不明

設置経緯：東京スクール・オブ・ビジネスは、学校法人 Adachi 学園が運営する。ペット・愛玩動物看護師・スポーツ・経営・ビジネスデザイン・AI・IT・オフィス・フラワー・ファッションの合計 10 学科を設置。専門スキルとビジネスを共に学びながら興味分野への就職を目指す教育を軸に、業界へ就職を志望する学生を対象に専門教育を行っている。設立者の安達建之助氏（1934－2000）は大阪府出身で、学校経営者の顔と、ゴルフ場やホテル・リゾート施設を経営する実業家の顔のほかに、バブルに便乗した仕手屋の顔を持っていた。東京スクール・オブ・ビジネスの経営に関しては、本像台座の「安達建之助理事長 碑文」に、次の記載がある。

1934年 2月16日大阪府東大阪市布施で生まれる

1958年 早稲田大学卒業

1959年 東京デザイン研究所設立

1967年 東京スクール・オブ・ビジネス設立

1979年 東京スクール・オブ・ビジネス学校法人・専修学校認可

姉妹校設立事業（省略）

2000年 2月11日永眠

（3）東京クールジャパンの安達建之助像

私は代々木駅前安達像を探索した後、都営地下鉄大江戸線に乗って、1 駅先の国立競技場駅で下車した。東京都の老人パスのお陰で、この間は無料である。（但し、私はパス料金として年間 20510 円を支払っている。）国立競技場駅の周辺地図を、次ページの図4上に示す。本図にあるように、目指す東京クールジャパンは、東京体育館の裏手ある。

図4下に、本校の玄関を示す。校舎は、東京体育館周辺という1等地に建つ瀟洒なビルであった。6ページの図5上に示すように、玄関ロビーにお馴染みの安達像があった。私は職員の許可を得て、本像を撮影した。その写真を図5上に示す。図5下に、本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部を示す。姉妹校設立事業は（2）と同様に省略する。



図4. 上：東京クールジャパンの周辺地図、本図は、[1\) のサイト/](#)より借用。①：地下鉄大江戸線国立競技場駅、②：JR 千駄ヶ谷駅。下：本校の玄関。

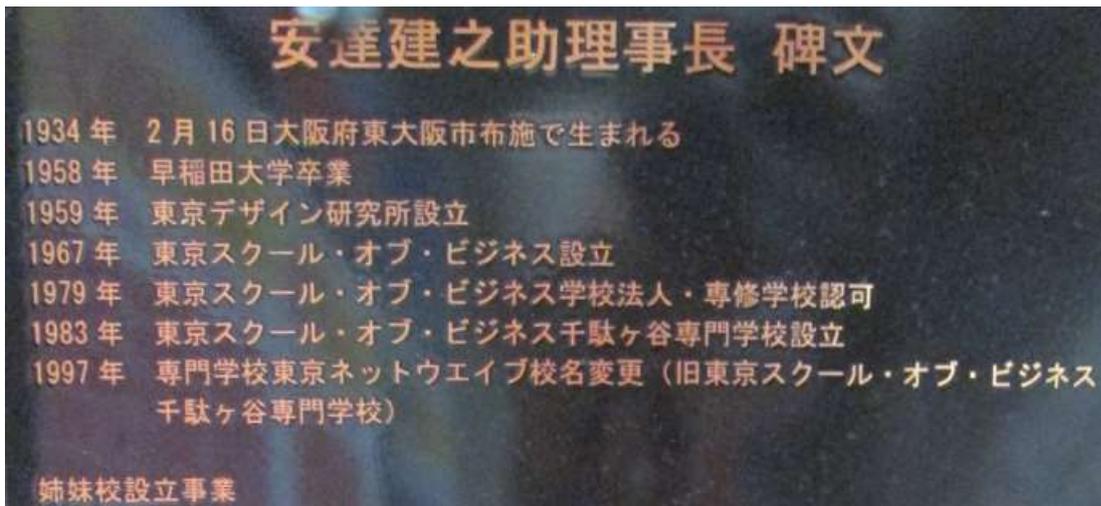


図5. 上：東京クールジャパンの玄関ロビー、下：本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部。

本校の紹介はウィキペディアに書かれている。以上の資料などにより、本校の安達像の概要は次の通りである。

安達建之助理事長胸像

設置場所：東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-8-17 東京クールジャパン玄関ロビー

制作者：東條会館、設置時期：不明

設置経緯：東京クールジャパンは、2019年4月1日に名称が東京ネットウェイブより変更した。本校は、学校法人 Adachi 学園が運営する。ゲーム・アニメ系の学科を設置し、業界へ就職を志望する学生を対象に専門教育を行っている。設立者の安達建之助氏（1934－2000）は大阪府出身で、学校経営者の顔と、ゴルフ場やホテル・リゾート施設を運営する実業家の顔のほかに、バブルに便乗した仕手屋の顔を持っていた。東京ネットウェイブの経営に関しては、本像台座の「安達建之助理事長 碑文」に、次の記載がある。

1934年 2月16日大阪府東大阪市布施で生まれる

1958年 早稲田大学卒業

1959年 東京デザイン研究所設立

1967年 東京スクール・オブ・ビジネス設立

1979年 東京スクール・オブ・ビジネス学校法人・専修学校認可

1983年 東京スクール・オブ・ビジネス千駄ヶ谷専門学校設立

1997年 専門学校東京ネットウェイブ校名変更（旧東京スクール・オブ・ビジネス千駄ヶ谷専門学校）

姉妹校設立事業（省略）

2000年 2月11日永眠

（4）東京ビジュアルアーツの安達建之助像

私は千駄ヶ谷で安達像を探索した後、大江戸線で青山一丁目駅まで行き、半蔵門線に乗り換えて、半蔵門駅で下車した。そこから、東京ビジュアルアーツまで歩いた（図6の矢印の方向）。本校の周辺地図を図6に示す。（本文は9ページへ）



図6．東京ビジュアルアーツの周辺地図、本図は、[1\) のサイト/](#)より借用。



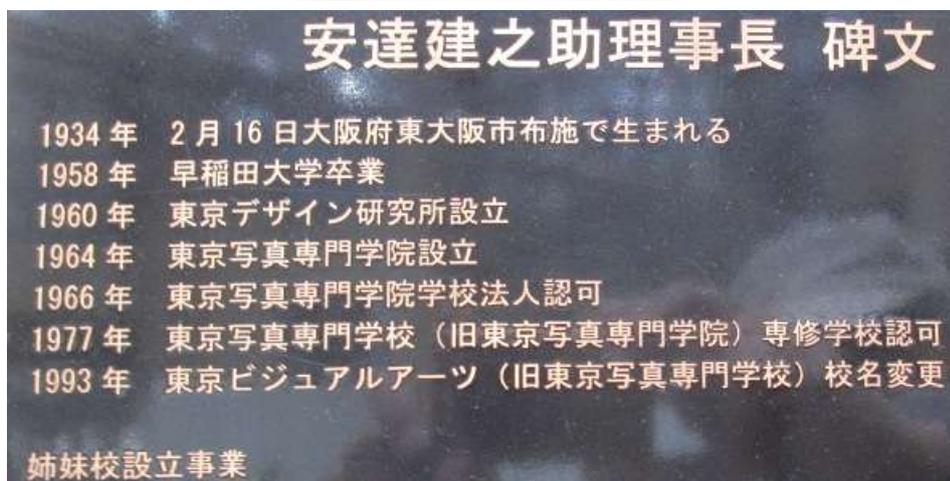
図7. 上：東京ビジュアルアーツの玄関、下：本校の玄関ロビー。

図7上に東京ビジュアルアーツの玄関を示す。校舎は、四番町という超高級住宅地に建つモダンなビルであった。図7下に示すように、玄関ロビーにお馴染みの安達像があった。私は職員の許可を得て、本像を撮影した。その写真を図8上に示す。図8下に、本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部を示す。姉妹校設立事業は(2)と同様に省略する。



図8.

上：安達建之助像、
下：本像台座側面の「安達建之助理事長 碑文」の上部。



本校の紹介はウィキペディアに書かれている。以上の資料などにより、本校の安達像の概要は次の通りである。

安達建之助理事長胸像

設置場所：東京都千代田区四番町11 東京ビジュアルアーツ玄関ロビー

制作者：東條会館、設置時期：不明

設置経緯：東京ビジュアルアーツは、学校法人 Adachi 学園が運営する。写真、映像、特殊メイク、マスコミ、音楽、俳優、ダンスと、エンターテインメントとクリエイティブ分野を目指す総合校として、業界への就職・デビューを志望する学生を対象に専門教育を行っている。設立者の安達建之助氏（1934－2000）は大阪府出身で、学校経営者の顔と、ゴルフ場やホテル・リゾート施設を運営する実業家の顔のほかに、バブルに便乗した仕手屋の顔を持っていた。東京ビジュアルアーツの経営に関しては、本像台座にある「安達建之助理事長 碑文」に、次のような記載がある。

1934年 2月16日大阪府東大阪市布施で生まれる

1958年 早稲田大学卒業

1960年 東京デザイン研究所設立

1964年 東京写真専門学院設立

1966年 東京写真専門学院学校法人認可

1977年 東京写真専門学校（旧東京写真専門学院）専修学校認可

1993年 東京ビジュアルアーツ（旧東京写真専門学校）校名変更

姉妹校設立事業（省略）

2000年 2月11日永眠

（5）東京観光専門学校の安達建之助像



図9.
東京観光専門学校の周辺地図、本図は、[1\)](#)のサイト/より借用。

私は四番町で安達像を探索した後、歩いて東京観光専門学校まで行った。その経路は次の通りである（図9の赤い矢印の方向）。

東京ビジュアルアーツ→東郷公園→新見附橋→東京観光専門学校

本校の周辺地図を図9に示す。図10に東京観光専門学校の校舎を示す。校舎は、市ヶ谷という超高級文教地区に建つ古風なビルであった。「**TOKYO INSTITUTE OF TOURISM**」と校名が書かれており、まるで「オックスフォード大学」のカレッジのような風格を漂わせていた。ウィキペディアによれば、「**当地には、かつて谷干城が初代である谷子爵の邸宅が所在した**」そうである。安達氏がこのような由緒ある土地を手に入れたのは、彼の「仕手屋としての手腕」に因るのであろう。



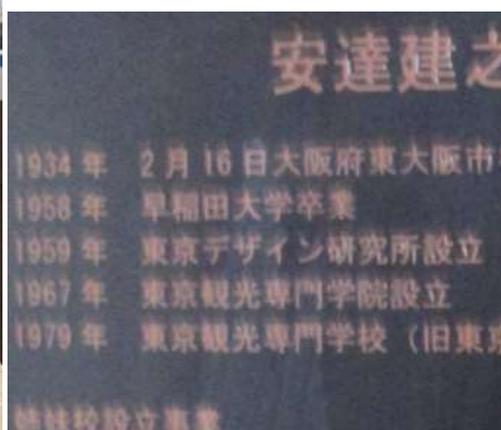
図10. 東京観光専門学校の校舎

本校の玄関ロビーにお馴染みの安達像があった。私は職員の許可を得て、安達像を撮影した。その写真を次ページの図11上に示す。図11下に、本像台座側面の「**安達建之助理事長 碑文**」の上部を示す。姉妹校設立事業は（2）と同様に省略する。

なお、[3\)のサイト/1](#)によれば、東京には「東京安達日本語学校」という姉妹校がある。本校は、東京観光専門学校の正門の脇にあった。本校の玄関には「コロナのため関係者以外の立入禁止」の文書があったので、本校の探索は断念した。以上で、東京の姉妹校を全て探索することが出来た次第である。



図 11.
左：安達建之助像、
右：本像台座側面の「安達建之
助理事長 碑文」の上部。



東京観光専門学校の紹介はウィキペディアに書かれている。以上の資料などにより、本校の安達像の概要は次の通りである。

安達建之助理事長胸像

設置場所：東京都新宿区市谷田町 3-21 東京観光専門学校玄関ロビー

制作者：東條会館、設置時期：不明

設置経緯：東京観光専門学校の所在地には、かつて谷干城が初代である谷子爵の邸宅が所在した。本校は、学校法人 Adachi 学園が運営する。冠婚葬祭・宿泊・観光・航空・鉄道・飲食・外国語の 7 分野をカバーしている。設立者の安達建之助氏（1934－2000）は大阪府出身で、学校経営者の顔と、ゴルフ場やホテル・リゾート施設を経営する実業家の顔のほかに、バブルに便乗した仕手屋の顔を持っていた。東京観光専門学校の経営に関しては、本像台座にある「安達建之助理事長 碑文」に、次のような記載がある。

1934 年 2 月 16 日大阪府東大阪市布施で生まれる

1958 年 早稲田大学卒業

1959 年 東京デザイン研究所設立

1967 年 東京観光専門学院設立

1979 年 東京観光専門（旧東京観光専門学院）学校法人・専修学校認可

姉妹校設立事業（省略）

2000 年 2 月 11 日永眠

参考資料

- 1) のサイト : <https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト : <http://masaniwa.web.fc2.com/Ranpo.pdf>
- 3) のサイト : <https://www.tdg.ac.jp/about/group.html>